

# 社会福祉法人山陰家庭学院

## Q:山陰家庭学院という法人名は？

A：当法人の歴史は古く、明治34年にお寺の禅堂を借り、家庭や親に恵まれない児童を集め家庭の温かさ、優しさを感じてほしいという思いで社会事業を始めました。その後明治37年に財団法人「山陰慈育家庭学院」を設立、昭和27年に社会福祉法人山陰家庭学院と改称されました。

現在でも一貫して施設や事業所は高齢者や障がいのある方々の「家庭」であり職員は親であったり家族として支援するべき、という考えで職員全員が業務に当たっています。

## Q:どのような施設を運営されていますか、また職員数は？

A：高齢者・障がい児・者の方の入所・通所施設、相談支援事業、介護保険外の高齢者デイサービス事業等19事業を実施しており職員は252名います。

## Q:キャリアパス制度はありますか？

A：当法人に就職されたら自分のキャリアデザインを具体的に描くことができるよう適正な評価のもとにキャリアパス制度を導入しています。したがって生涯にわたって明確な目標をもって業務にあたることができます。併せてそれぞれの職位にあった給与体系にしています。

## Q:新任職員の育成はどうなっていますか

A：新任職員育成プログラムを策定しています。先輩職員がメンターとして新任職員の相談相手として不安や悩みの相談等サポートしています。更にチェックシートに基づいて職場全体で育成していきます。

## Q:退職金制度はありますか？

A：「(独立行政法人)福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度」及びそれを補完する「県社協の県民間福祉施設職員等共済制度」の二つに加入しています。

また、「県民間社会福祉事業従事者互助会」にも加入し、職員の皆さんやご家族の冠婚葬祭への給付金や職員の健診の一部助成などを行っています。

## Q:介護職員処遇改善加算はどの区分ですか？

A：キャリアパス要件、職場環境等要件のすべてを満たしていますので「加算Ⅰ」を取得しています。

**Q:表彰制度はありますか**

A:年1回職員全員が集まって「感謝の集い」を開催し、職員と法人関係者や来賓の方々との交流を深めています。併せてその場で永年勤続表彰や成績優秀者表彰を行っています。

**Q:賞与はどれくらいですか？**

A:6月に2ヶ月、12月に2ヶ月の計4ヶ月です。

**Q:人事異動はありますか？**

A:人事異動はあります。管理職が毎年面談を行い職員の皆さんの希望に配慮しています。

**Q:職員研修はどのように実施されていますか？**

A:法人内に研修部を設置し、職位に応じた生涯研修や社会人或いは組織人として必要な研修を実施しています。また、キャリアパス制度に基づき外部研修への派遣も積極的にを行っています。

各事業所では専門分野の研修派遣も行っています

**Q:休暇はどのような休暇がありますか？**

A:労基法に基づく休暇

有給休暇、産前・産後休暇、育児・介護休業、子の看護休暇、育児短時間勤務等  
本人・家族の冠婚葬祭による特別休暇

**Q:経営理念に「和顔・愛語」という言葉がありますが、どういう意味ですか？**

A:和顔・愛語⇒仏教の教えのひとつです。

「和顔」はやさしい顔つきのこと。「愛語」は親愛の気持ちがこもった言葉、という意味です。これを、法人に置き換えますと、利用者の方にも職員同士でも、穏やかな優しい笑顔で、そして優しく愛情のある言葉で接するということになります。

社会生活や集団生活をする上での基本でありこの言葉を職員一同実践しています。

**Q:地域との関わりはありますか？**

A:「ふれあい祭」や地区社協が実施しているなごやか寄り合い事業、防災活動、道路の草刈り等地域の方々のご理解やご協力をいただきながら取り組んでいます。法人の経営理念にも謳っているように、今後も地域福祉事業の核として更に地域との関係を深め様々な活動を展開したいと思っています。

